

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2014年 9月29日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒624-0906 京都府舞鶴市宇台谷660番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日之出化学工業株式会社 高木 静雄
環境マネジメントシステムの名称	日之出化学工業株式会社環境マネジメントマニュアル (KESステップ2)
適用範囲	日之出化学工業株式会社 本社・舞鶴工場
導入年月日	2012年 8月 1日
認証番号	KES2-0622
基本方針	日之出化学工業株式会社本社・舞鶴工場は、磷酸質肥料の製造およびフッ化マグネシウムの製造・販売に係わる全ての活動、製品およびサービスの環境影響を改善するために、環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	(1) エネルギー原単位の向上 (2) 排ガスの脱硫効率の向上 (3) 総合排水中の有害物の低減 (4) 産業廃棄物の削減 (5) 品質クレームの撲滅
目標を達成するための取組の内容	(1) エネルギー原単位の向上 ①平炉増産に伴うエネルギー原単位の向上、②粉砕機停止中の回収熱風の有効利用、③原燃料の粉砕効率アップ (2) 排ガスの脱硫効率の向上 ①現状の脱硫効率の把握、②試験による脱硫効果の確認、③増強設備仕様の検討 (3) 総合排水中の有害物の低減 ①フッ素イオンでの監視方法の確立、②中和反応の条件見直し、③希釈水の自動注入 (4) 産業廃棄物の削減 ①廃プラスチックの有価物化、②納入業者への引き取り強化、③分別強化による有価物の回収 (5) 品質クレームの撲滅 ①品質管理規則の改訂、②梱包材のシール不良、破れに対する具体策と歯止め、③根本的対策となる設備改善の計画
目標を達成するための取組の進捗状況	(1) エネルギー原単位の向上 ①燃料投入量アップによる生産性向上、②改善工事に伴い微量の省エネ効果を確認、③原料品種を変更して粉砕効率をアップ、日産量増に寄与 (2) 排ガスの脱硫効率の向上 ①現状データの測定、把握、②水マグ乳液による脱硫試験実施、効果確認、③乾式、湿式の比較検討 (3) 総合排水中の有害物の低減 ①イオン濃度計管理値の基準化と異常時対応のマニュアル化、②排ガス洗浄水の濃縮防止運用、③希釈水注入設備の設置と遠隔操作化 (4) 産業廃棄物の削減 ①廃フレコンバッグの有価物化は実績化、更にPE袋を検討中、②実績化できず、③木製廃パレットの有価物化 (5) 品質クレームの撲滅 ①案まで作成、②バックのオーバーホールを実施、③固結品混入の主原因となっていたバケットエレベーターを更新
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	(1) エネルギー原単位の向上 目標 2011年度比 2%改善に対し、実績 6.3%改善 (4) 産業廃棄物の削減 当初計画していなかった廃糖蜜バインダータンク内部を清掃する必要が生じて計画外の廃棄物が発生し、目標未達。その他の廃棄物削減、有価物は目標達成。 (5) 品質クレームの撲滅 固結品混入クレームは発生せず。袋詰め後の固結とシール不良が発生した為、対策推進中。
事業活動に係る法令の遵守の状況	公害関係は舞鶴市と協定を締結。3ヶ月ごとに舞鶴市に環境測定結果を報告している。 また、工場排水等、環境異常が発生した場合は、都度速やかに報告している。 H25年度は工場排水において、pH、フッ素濃度、カドミウム濃度の異常が発生し、管理基準及び手順の見直し、設備改善等の対策を実施した。また、カドミウム低減対策設備工事をH26年度運用開始に向けて実施中。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	エネルギー原単位の向上については、基準年度を2011年度から2013年度に変更してさらなる改善を図る。 引き続き主要5項目について継続して取り組む。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。